

米原市長選告示（2月12日）にあたって



暮らしと福祉が大切にされる市政へ

米原市民報

日本共産党米原市議団
清水隆徳 Tel.52-1969
藤田正雄 Tel.55-1128
太田幸代 Tel.54-2286

<http://www.jcp-maibarashigidan.com>

日本共産党が見解を発表

日本共産党米原市議団は、「市民が主人公・暮らしや福祉を大切にす市政」を実現する立場で、議会活動に取組んできました。全ての議会で市民の声を届け、請願も積極的に紹介議員となり、意見書による議員提案もおこなってきました。

米原市長選挙が2月12日告示、19日投票で行われます。日本共産党湖北地区委員会と日本共産党米原市議団は、今度の選挙にあたっての考えと基本的な立場を次のように発表しました。

住民の「声」が市政を動かしてきました

こうしたなかで、市政や議会においてもその願いが少しずつ実現されようとしています。市政では、中学校卒業までの医療費無料化、また保育園幼稚園保育料の第2子以降の無料化の実現等です。最近では市内の公共交通であるデマンドタクシー（まいちゃん号、カモン号）利用改善についても多くの自治会で署名活動が取り組まれ市長交渉も行われています。

議会では、集団的自衛権行使容認反対の意見書、差別を助長するヘイトスピーチ禁止の請願、所得税第56条廃止の請願、原発事故自主避難者の住宅支援の請願など議会において採択・可決されています。また意見書として可決はされませんが、安倍内閣の「平和安全保障関連法案（戦争法案）」反対の意見

書やTPP批准反対の意見書など共産党市議団以外の党派とも連携を取りながら、議会としての意思表示に努めてきました。

一方で、この4年間に大企業優先、開発優先のそのまの行政がすすめられていることも事実です。

庁舎問題は、市民生活に係る大きな問題でしたが、市は市庁舎の位置を米原駅東口の市有地に強引に進められてきました。位置条例は、2回の議会で継続審査となり、その次の議会では3分の2以上を得られず否決されましたが、次の議会に再度提出して可決という混乱した結果でした。日本共産党市議団としては、米原駅東口については位置に問題があり、多くの市民も望んでいないとして反対してきました。

10月の市議選は皆さんの要求実現に全力で

今年10月には米原市議会議員選挙がおこなわれます。日本共産党米原市議団は、この選挙を「暮らしや福祉の願いを前進させる」立場から積極的に立候補し、市民のみなさんの要求実現をめざして、全力でがんばる決意をしています。みなさんの温かいご支援を心からお願いたします。

また企業誘致について、多くの補助金が出されていますが、雇用に結びついていないなど厳しく指摘してきました。地域経済の起爆剤として「住宅リフォーム助成制度」は実施されませんが成果を上げながら3年間で打ち切られています。

くらしと福祉はかかせない支援すべき

今後、福祉・教育・医療の充実、国民健康保険や介護保険の改善、雇用の拡大、農林業や中小業者への支援、同和対策の早期終結などの

雑感

米原市議会の定数についての審議会が2月1日に開催され18人（現在20人）が望ましいとの答申が出されました。付帯意見として更なる削減と議会改革、議員の資質向上が求められています。この答申を踏まえ3月議会に定数削減条例が提出される予定です。しかし、この削減は議員定数が少なくない組織や知名度、資金力が無ければ立候補は出来ません。また、市民の皆さんが強く求めておられる、議員資質の向上と経費の節減は十分わかりません。ただ、そのことによっては、誰もが参加する大切な民主主義が損なわれては元も子もありません。



